

【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 （佐賀県） 事業名：「献血ふれあいフェスタ」

様式7-5

【1目的】県民の方々に献血を身近に感じていただくと共に、献血の必要性を認識してもらい、献血者の確保に繋げる。

【2内容】献血推進団体に対する感謝状等の伝達・贈呈後、一日血液センター所長任命式（地元高校生）及び同世代である若年層へ向けた献血アピール、地元ミュージシャンによるライブステージ、献血に関するクイズ大会、ライオンズクラブやJRC等による献血呼びかけを行い移動採血バスを設営しての献血の受け入れ等を実施した。

【3実施日・場所】平成27年7月19日（日）・ゆめタウン佐賀

【4対象者】献血推進協力団体及び一般県民



【5実施手順】5月初旬、赤十字血液センターと企画内容等の調整を行った。

【6実施に際して苦労したこと】県民の方々に献血の必要性について効果的にPRする方法について検討を重ねた。

【7予算額】県と赤十字血液センターで折半。

約130万円【内訳：広報費約31万円、イベント企画費約99万円】

【8来場者】献血者数 123人

【9効果（評価）】イベント告知のため1か月前からラジオ放送で献血の呼びかけを行ったことで献血の重要性を認識してもらい、多くの献血者を確保することができた。

【10改善点】年々、若年層の献血者が減少しているため、さらに若年層への献血啓発につながるようしていきたい。

【11今後の課題】平成28年度の実施に当たっては、赤十字血液センターと協議し若年層をターゲットにした効果のあるイベントにしていきたい。

【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 （佐賀県） 事業名：「はたちの献血キャンペーン」

【1目的】成人を迎える若者に献血の必要性を認識してもらい、献血者の確保に繋げる。

【2内容】学生献血推進協議会と連携して、キャンペーンを実施した。学生献血ボランティアによる献血の呼びかけや20代の学生へ「一日血液センター所長」委嘱式を行い、若者からの献血への啓発を行った。また移動採血バスを設営しての献血の受け入れ等を実施した。

【3実施日・場所】平成28年1月11日（月祝日）ゆめタウン佐賀

【4対象者】献血推進協力団体及び一般県民



【5実施手順】10月初旬に赤十字血液センターと企画内容の調整と実施日の調整を行った。

【6実施に際して苦労したこと】県民の方々に献血の必要性を効果的にPRする方法について検討を重ねた。

【7予算額】県と赤十字血液センターで折半。

約130万円【内訳：広報費用約39万円、イベント企画費約91万円】

【8来場者】献血者数 117人

【9効果（評価）】イベントの告知のため1月～2月のキャンペーン期間中にラジオ放送で献血の呼びかけを行ったことで、冬期の献血者減少解消に大いに役立った。

【10改善点】年々、若年層の献血者が減少しているのでさらに若年層への献血啓発につながるようにしていきたい。

【11今後の課題】平成28年度の実施に当たっては、学生献血推進協議会及び血液センターと協議しさらに効果のあるイベントにしていきたい。

【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 （佐賀県） 事業名：「コンビニ健診コラボ献血」

【1目的】特定健診・がん検診の会場において献血を実施することで、地域住民に献血について関心を持ってもらい、献血率を向上させる。

【2内容】住民に身近なコンビニで特定健診・がん検診を実施し、同時に、健康に関する啓発や相談等のイベントを行っている。このイベントの中で、移動採血バスによる献血、と献血に関する啓発を実施した。

【3実施日・場所】平成27年5月31日（日）
佐賀市内のコンビニ

【4対象者】一般県民

【5実施手順】3月から健診実施機関等と協議。
コンビニの周辺住民への周知。

（チラシ配布、ポスター掲示、回覧板での周知）

【6実施に際して苦労したこと】健康診断と献血を同時に実施することに関して、健診実施機関に理解を得ることに苦労した。

【7予算額】なし

【8来場者】約200人

【9効果（評価）】健康について関心の高い参加者が多く、献血にも関心を持ってもらえた。

【10改善点】初めての開催だったため、イベントの周知が遅れた。

【11今後の課題】早い時期からイベントの周知を行い、より多くの方に参加してもらい、イベントを定着させていきたい。



【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 （佐賀県） 事業名：「献血ふれあいフェスタ」

【1目的】県民の方々に献血を身近に感じていただくと共に、献血の必要性を認識してもらい、献血者の確保に繋げる。

【2予定内容】献血推進団体に対する感謝状等の伝達・贈呈式、一日血液センター所長任命式、地元ミュージシャンによるライブステージ、献血に関するクイズ、学生献血ボランティア等による献血の呼びかけ、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」「やよいけんけつちゃん」との記念撮影及び移動採血バスバスを設営しての献血の受け入れ等を実施する。

【3実施日・場所(予定)】平成28年7月中旬・ゆめタウン佐賀

【4対象者】献血推進協力団体及び一般県民

【5昨年度実績】献血者数 123人

【6実施手順】5月初旬に赤十字血液センターと企画内容の調整と実施日の調整を行う。

【7予算額】県と赤十字血液センターで折半。

約110万円【内訳：広報費用未定、イベント企画費未定】

【8目標(効果)】「献血ふれあいフェスタ」のイベント当日の献血者数目標120人
(内30歳以下30人25%)

【9実施に向けた課題】年々、献血者数が減少しているため、新たな広報戦略を図り若年層への献血啓発につながるようにしていきたい。

【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 （佐賀県） 事業名：「はたちの献血キャンペーン」

【1目的】成人を迎える若者に献血の必要性及び重要性を認識してもらい、献血者の確保に繋げる。

【2予定内容】学生献血推進協議会と連携して、キャンペーンを実施する。学生献血ボランティアによる献血の呼びかけ（様式1参照）及び移動採血バスを設営しての献血の受け入れ等を実施する。

【3実施日・場所（予定）】平成29年1月初旬（成人の日）・ゆめタウン佐賀

【4対象者】主に30歳以下の若年層

【5昨年度実績】献血者数 117人

【6実施手順】10月初旬に赤十字血液センターと企画内容の調整と実施日の調整を行う。

【7予算額】県と赤十字血液センターで折半。

約110万円【内訳：広報費用未定、イベント企画費未定】

【8目標（効果）】「はたちの献血」のイベント当日の献血目標120人
（内30歳以下30人25%）

【9実施に向けた課題】年々、献血者数が減少しているため、新たな広報戦略を図り若年層への献血啓発につながるようにしていきたい。

【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 （佐賀県） 事業名：「クロスレター交換式」

【1目的】血液を必要とする患者さんの感謝の気持ちと献血者の応援の声を相互に届けることで、血液がどのように活用されているのかを知っていただき、より献血に関心をもってもらう。

【2予定内容】献血者と患者さんに相互のメッセージを書いていただき、クロスレター交換式を実施する。また、血液センター等にメッセージを掲示

【3実施日・場所(予定)】交換式：平成28年8月
佐賀県医療センター好生館

【4対象者】一般県民

【5昨年度実績】なし



【6実施手順】献血者と好生館の患者さんにメッセージを書いていただく。

【7予算額】約 5万円

【8目標(効果)】献血された血液がどのように活用されているのかを多くの方に知って、献血に関心をもってもらい、献血者増加につなげる。

【9実施に向けた課題】幅広い広報戦略を図り、「クロスレター」の取組を県民に伝えていきたい。